

## 美容と映画「ローマの休日」

### 1 はじめに

美容とは内面の美しさを引き出すものです。

ずいぶん古い作品（1953年製作）ではありますが、映画「ローマの休日（Roman Holiday）」における主人公の心の変化をお話しします。

### 2 映画「ローマの休日」のあらすじ

主人公アン王女は次期女王になる立場にあります。貿易振興を目的としてイギリス、フランスなどヨーロッパ各国を公式訪問しており、イタリアのローマに入ります。公式行事が苦痛であるアン王女は、夜、迎賓館を抜け出し、偶然、新聞記者の安アパートに泊まります。

朝、新聞記者と別れ、一人で迎賓館へ帰ろうとするのですが、通りのカガミに映った自分の姿を見て（ダサいと思い）美容室に入ります。

美容師：ウェーブにしますか？

アン王女：カットして

美容師：（髪をつまんで）これくらい？

アン王女：もっと

美容師：いいのですか？

・・・

アン王女：（仕上がったショートカットを見て、満足げに）やったぞ

### 3 内面の美

アン王女をオードリーヘップバーン（1929～1993）が演じます。彼女はハリウッド映画における一般的な美人ではないと思います。ハリウッド映画の主演女優は力強さがありますが、彼女は「妖精」と言われるほどにきゃしゃな体つきです（バレリーナ志望でした）。

王女は、長髪をアップにし、ティアラをつけています。しかし、ローマの街は彼女の心を庶民にしました。活動的、簡素、エネルギッシュな女の子です。ショートカットです。地のオードリーヘップバーンと映画の王女とが融合しました。

### 4 美容

美容とは女性および男性の内面の美しさを、髪型をとおして、顕在化させる技術です。お客様の内面は、初対面であっても、顔の相貌、声のひびきと話しの速さ、動作の様子からわかります。

映画「ローマの休日」における美容師は、「ウェーブにするのですか？」などお客様（アン王女）の要望

を聞きながら施術をするのですが、最後には「(パーティに出席するすべての女性のなかで) あなたが一番です」と言います。美人だと言っているわけではありません、美しいと言っているのです。

本項おわり